

平成26年度 事務事業評価シート

章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	I	国内における交流の場と機会の拡大
目標	広域交流を推進し、地域の活性化に努めるとともに、新しいまちづくりを推進する。	

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標① げんきかい等における参加者数	人	198	210	215	193	160	158	-	250

施策コード	施策の基本的な方向性	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 国内の様々な地域との交流の推進	① 広域行政の推進	・効率的な行政運営を図るため、西胆振の市町村や白老町との連携を進め、広域行政を進めます。 (1)外国人観光客や修学旅行客の誘致を促進するため、観光事業の連携を強化します。 (2)首都圏などにおける団塊の世代をターゲットとした移住促進策の連携を図ります。 (3)地方税制の改正などに対応するため、共同電算業務の連携を図ります。 ・近隣都市との事務の連携を図るため、室蘭市・伊達市や白老町との行政懇談会を開催し、連携を進めます。 ・地方自治体における共通の課題に対応するため、新都市連絡協議会や道南五市市長会において、協議を進めます。 ・定住自立圏形成協定を締結した室蘭市と相互に役割を分担し、連携を図りながら、圏域全体の広域行政の推進に努めます。
1-②	1 国内の様々な地域との交流の推進	② 姉妹都市交流等の推進	・宮城県白石市との姉妹都市提携に基づき、物産展などの経済交流、児童・生徒のスポーツ交流や民間による文化交流などにより相互理解を深め、交流を推進します。 ・白石市及び白石市の姉妹都市である神奈川県海老名市とのトライアングル交流について、今後も様々な分野において、一層交流を深めるため、三市間の援助・協力関係を強化します。
1-③	1 国内の様々な地域との交流の推進	③ 札幌圏・首都圏における交流拠点の整備	・東京登別げんきかいや札幌のほりべつ会を通じて、首都圏や札幌圏の人々との情報交換を進め、情報の共有化を図り、関係を強化します。 ・登別市ふるさと大使へPRカード(名刺)や広報紙などを提供し、ふるさと大使と連携しながら、地域ブランドやふるさとの情報を発信します。
1-④	1 国内の様々な地域との交流の推進	④ 情報発信	・ホームページなどを活用し、東京登別げんきかいや札幌のほりべつ会の活動状況やその成果などの情報提供に努めます。

NO	施策	事業名 【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do											Check						Action								
								事業概要				事業の成果、目標						各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						評価		評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性 【H27以降】						
								事業の目的	年度	対象者等 ※同一事業の場合は、複数者を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	名称	H24決算	H25決算					H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案		
1	1-②	登別・白石・海老名友好交流事業 62112006	総務部 総務G	H23	-	ソフト	一般会計	登別市、白石市、海老名市の3市間で結ばれた「トライアングル交流宣言」をきっかけとし、物産展への参加や市民訪問団の受け入れなどを行うことにより、市民レベルでの友好交流を促進することを目的とする。	H24	登別市、白石市、海老名市民	姉妹都市等都市間交流協会と連携しながら、交流事業を行った。 【主な交流事業の内容】 ・白石市・海老名市民登別訪問ツアーの受け入れ ・札幌地区まつり祭りに伴う物産展受け入れ ・白石市農業祭り、えびな市民まつりに伴う物産展への出店	トライアングル交流宣言書	3市交流人口	人	399	650	300	300	300	300	国庫支出金									H24以前	平成25年度は白石市と姉妹都市提携30周年の節目となることから、両市間の更なる交流を促進するための事業の検討を行った。	維持 3市が「家族、姉妹、兄弟、友達」のような関係を築き、様々な分野において交流を深め、相互支援関係を強化するため、両市が事業主体となって交流を行う必要がある。	現在は市民ツアーの受け入れや物産展への出店及び受け入れなどを通じ、3市の間に友好交流の気風が現れ、市民主導の事業を目指している。
							H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	登別・白石姉妹都市提携30周年記念事業(62112009)を行った。					
							H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	2,881	3,735	4,712	4,712	4,712	4,712		H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。					
2	1-②	登別・白石姉妹都市提携30周年記念事業 62112009	総務部 総務G	H25	H25	ソフト	一般会計	登別市と宮城県白石市は平成25年度で姉妹都市提携30周年を迎えることから、両市市民の参加・参画を主体とした記念式典等を行うことにより、姉妹都市の意義など市民の理解を深めるとともに、より一層の交流を深めることを目的とする。	H24	-	-	-	式典参加人口	人		290					国庫支出金								H24以前	平成25年度は白石市と姉妹都市提携30周年の節目となることから、両市間の更なる交流を促進するための事業の検討を行った。	維持(統合) 事業の実施により、登別市、白石市、海老名市の交流を促進するため、今後も事業を継続することが求められる。	登別・白石姉妹都市提携30周年記念事業は、平成25年度で終了したが、事業の必要性に変わりはないため、平成26年度より「登別・白石・海老名友好交流事業」(62112006)に統合し、継続して取り組んでいく。	
							H25	登別市、白石市、海老名市	30周年記念式典を登別市、白石市の両市で執り行い、式典時には両市及び海老名市民の訪問と受入を相互に行った。また、登別市で執り行った記念式典の翌日には、三市が参加した記念植樹を実施した。										地方債								H25	平成26年度から「登別・白石・海老名友好交流事業」(62112006)で事業を実施する。					
							H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源		1,222							H26	-				
3	1-③	東京登別げんきかい交流事業 62113001	総務部 企画調整G	H元	-	ソフト	一般会計	首都圏等に在住の登別出身者等で構成される「東京登別げんきかい」と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。	H24	同会会員	総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのPRに協力いただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図った。 【主な活動内容・実績】 ・総会・情報交換会・懇親会の開催 平成24年11月10日(土)	(参考)東京登別げんきかい会則	総会・情報交換会参加者(延べ人数)	人	66	76	80	80	80	80	国庫支出金									H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持 会は首都圏での市のPR活動など登別の発展のための活動を行っている。その活動は市にとって大きな財産であり、同会との交流継続が妥当である。	将来は、団体の自主的運営の促進など、市との関係を含め市との関係を検討していく。
							H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり									地方債								H25	上記のとおり					
							H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般財源	556	525	585	585	585	585		H26	上記のとおり					

